

茨 道 第 1050 号

平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

茨木市長 野 村 宣



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

日頃から本市の道路行政に格別のご指導、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般、平成20年9月19日付け国道企第37号における標記の件について別紙のとおり回答させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

大阪府茨木市

- ・事業の進捗管理において、地権者との調整等難航することが多い用地買収について、土地収用制度の活用の見直しを行ってほしい。
- ・道路整備にかかる警察（都道府県公安委員会）との協議は、道路管理者の行う道路管理と公安委員会の行う交通規制との緊密な連携が必要
なため、道路法第95条の2、道路交通法第80条並びに同法第110条の2の規定に基づき行うものでありますが、道路設計協議、信号
設置要望等の決定に至るまでの協議に相当な日数を要するため、手続きを簡素化、迅速化をお願いしたい。

②-1 地域の現状と抱える課題

大阪府茨木市

○現状

- ・ JR茨木駅と阪急茨木市駅間等、中心市街地及びその周辺では日常的に交通渋滞が発生しており、公共交通の効率的なネットワーク形成の面でも課題となっている。
- ・ 広域的な交通も市内中心部を通過する道路ネットワークにより不要な通過交通が市内中心部に流入し、日常的に交通渋滞が発生している。
- ・ 道路の持つ交通処理機能と、沿道等の土地利用を促進するとともに、景観形成などの魅力と活力向上に果たす機能が重視されておることから、道路空間の有効利用や歩行者、自転車の利用を考慮した整備が求められている。

○課題

- ・ 中心市街地の交通環境の向上と広域交通と生活交通を分離する環状道路体系の整備促進
- ・ 公共交通の効率的なネットワークの形成
- ・ 公共交通の利用及び利便性の向上促進
- ・ 人優先を配慮した市街地内交通に向けた幅員構成の見直しや歩行空間の創出、ゆとり環境の創造
- ・ 既存の生活道路における機能に応じた拡幅、交差点の改良、歩車道の分離等の安全対策や緑化、歩行者自転車通行を考慮した歩道等の整備
- ・ 歩行者専用道路や歩行者を優先したコミュニティ道路、自転車道、ショッピングモールなどの整備を進め、都市施設を結ぶ歩行者空間ネットワークを形成
- ・ すべての人が安心して利用できるよう、福祉に配慮した整備及び改善
- ・ 環境にやさしい身近な交通手段として自転車の利用を促進

① 広域交通ネットワークの整備

1) 高速道路の早期整備

- ・新名神高速道路の整備促進

2) 幹線道路（国・府道）ネットワークの早期整備

- ・ 国道171号交差点（西河原西・清水）箇所における立体交差
- ・ 茨木寝屋川線、茨木箕面丘陵線、富田目垣線、耳原大岩線、大岩線、上郡佐保線の整備促進
- ・ 特に市内中心部への通過交通を減少させるため、茨木寝屋川線、大阪高槻京都線、大阪中央環状線、十三高槻線を結ぶ環状道路体系を確立

② 地区幹線道路の整備

1) 都市計画道路の計画的整備の推進

- ・ 茨木松ヶ本線、西中条奈良線、畑田太中線、沢良宜野々宮線、山麓線
阪急茨木駅島線の整備

2) 主要市道の拡幅整備

- ・天王一丁目宇野辺一丁目線、宿久庄二丁目安威一丁目線等の整備

3) 渋滞のない交通流を実現するための交差点改良

- ・国道171号交差点（西河原、三島丘二丁目、三島丘西）改良（右折レーン新設）

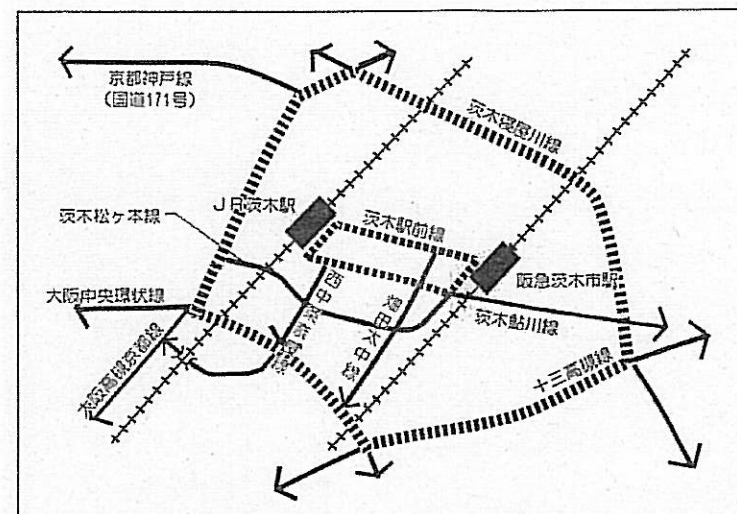
③生活道路の充実

1) 交通事故防止のため、通学路を中心とした歩道整備

2) 高齢者、障害者のためのバリアフリー化の促進

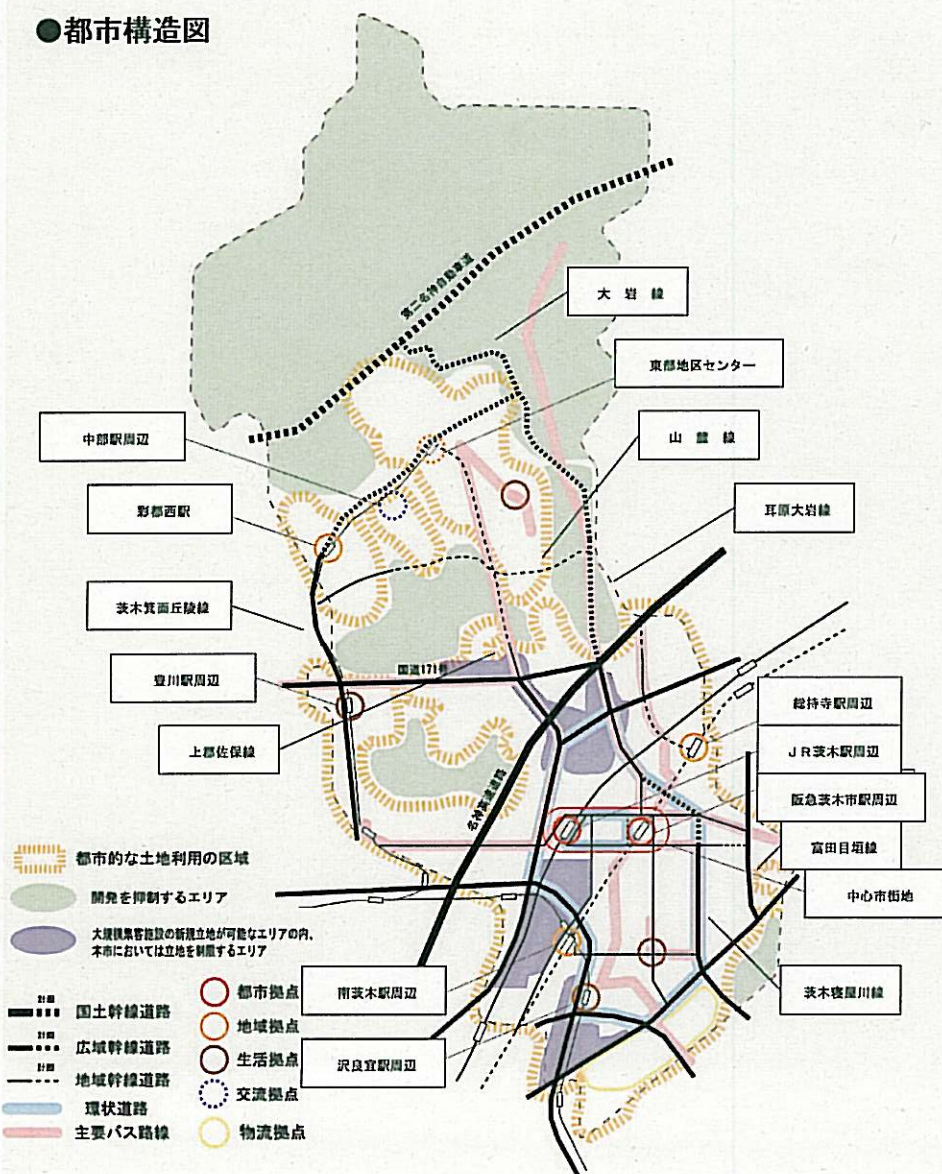
3) 歩いて暮らせるまちづくり

- ・茨木駅前線と茨木鮎川線等により「シビックセンター環状道路」を形成し、周辺都市計画道路等と連携して交通環境の向上を図る。



環狀道路体系図

●都市構造図



④交通結節点の機能強化と公共交通の利用促進

- 1) JR茨木駅周辺、阪急茨木市駅周辺、阪急南茨木駅周辺の交通環境の向上と駅前広場を交通拠点として機能強化を進める。
- 2) 阪急総持寺駅の高架化を周辺のまちづくりと連携させて検討する。
- 3) モノレール駅（沢良宜、宇野辺、阪大病院前、豊川、彩都西）とバスの連携についてバス事業者と調整する。
- 4) 阪急総持寺駅へのアクセスとなる総持寺太田線とJR東海道線との交差箇所の改良

⑤防災機能の向上

- 1) 電線共同溝の整備
- 2) 橋梁等の耐震補強を推進

⑥既存道路構造物の維持補修

- 1) 一定サイクルでの維持補修は、今後も永久的に継続されることから、維持補修の適切な時期を研究する。
- 2) 老朽化する橋梁の維持補修を耐震化と併せて実施